

第3回まるおか支部社会福祉協議会委員会のまとめをお伝えします！

まるおか支部社協 2次計画ふりかえりニュース

【発行】
坂井市社会福祉協議会
まるおか支部
坂井市丸岡町西里丸岡 12-21-1
(坂井市役所丸岡支所内)
TEL : 0776-68-5060
【発行月】令和2年5月

2月5日(水)に第3回まるおか支部社協委員会を開催しました。
「第2次 まるおか支部住民福祉活動計画」に基づいた取り組みについて、18名の委員さんがグループに分かれ、その進捗をふりかえるとともに見えてきた課題や今後取り組みたいことなど活発に意見を交わしました。

見守りのしくみづくり

取り組んだこと

○学校の行き帰りに見守りを兼ねた挨拶(声掛け)運動を行っている
○3者(区長、民生委員・児童委員、福祉委員)の見守りマップづくりを各地区で行っており、定着化している
○避難所運営ゲームや防災関連の研修会を通じて住民の防災意識が高まりつつある

見えてきた課題

○助けを求められない人が地域で見えづらい
○見守りマップづくりまでは良いがその後の見守り活動がまだ弱い
○団体間の情報共有がまだ薄い
○昔と比較し、声掛けをしたら警戒されてしまう。声掛けが安易にしぶらい世の中になってしまった
○ボランティアだけではできないこともある

今後、取り組みたいことや展望

○被災した当事者からの話を聞く機会があるとよい
○幅広い世代層が集まってもらえるような行事を企画していきたい(おにぎりづくりなど)
○情報や支援が届かない人をどうするか検討していきたい
○住民と行政、専門職のそれぞれができることを全力で行っていく！

第4期から次期(第5期)支部社協委員に向けて

『応援メッセージ』を書いてもらいました！

○横のつながりができたらいいな。会との橋渡しになってほしいです(八百山)
○あたたかい地域がいい(高尾)
○地域全体で安心出来る!!町づくり(井関)
○自分の思いをつらぬいてください(上田)
○誰もが笑顔で話ができる地域づくり(三澤)
○いつも笑顔で接してくれるたくさんの仲間がいる(西岡)
○小さな幸せを実感できる地域づくりを!(大霜)
○先ず、自助。次に共助、公助(上杉)
○情報の共有が一番。皆が知ることで支える力も倍増可能(東)
○明日は我が身と思って自分自身どのような形で見守ってほしいかと思いつつ活動をやって欲しい(大蔵)
○おしゃべりの多い街へ(宮永)
○人と出会えたらあいさつ、話をする(元井)
○誰とでも話し合え、お願いし合える地域!笑顔が戻る!!(吉田)
○実行性のある人づくり(河原)
○各種団体が共通意識を持った福祉づくりをめざして!(前田)
○笑顔のあふれる地域に(伊藤)
○しあわせの輪が広がる地域に(川上)
○福祉専門のボランティアや企業の専門家の意見を取り入れる仕組みも大切と思う(村中)

第2次 まるおか支部住民福祉活動計画

スローガン

広げよう地域に根ざした思いやり～一人も見逃さない絆づくり～

基本方針

地域にあるつながりを生かし、また新たなつながりを得ながらネットワークを築き、地域のきずなづくりに取り組みます。

見守りのしくみづくり

- 1 非常時のための平常時の訓練・見守りマップの作成、区内での情報の共有をしておこう!
- 2 見守りネットワークを強化しよう!!
- 3 地域で見守りをしてくれる人を増やそう!

人づくり

- 1 福祉に関わる人だけでなく、多くの人が参加できる機会づくりを地域で取り組もう!
- 2 人との絆づくり・ボランティア活動に参加してもらおう!

人づくり

取り組んだこと

○地域住民全体を対象とした3世帯交流会を開催している
○趣味の集まりを増やしている
○社会奉仕へ若い人にも声をかけ、高齢者が昔話をしている
○若い世代の地域活動への参加を促すために小学校、PTA、子ども会へ「福祉」についての説明会を設けている
○福祉講演会を通じてつながりづくりをしている

見えてきた課題

○新しい団地に住む住民と交流がなかなかできない
○福祉委員の活動を理解していない人がまだ多い
○福祉委員の新旧の引き継ぎがうまくいっていない
○団体や会の高齢化が進んでいるためニーズがあってもそれに答えられないときがある
○あて職(区長等)で活動に関わってくださった方をいかに継続してもらうか

今後、取り組みたいことや展望

○他団体との交流を考えていく
○福祉についての勉強会を行う
○継続性ある若い人を担い手として巻き込む
○社会づくりや社会問題をテーマとした集会があるとよい
○高齢者サロンで情報提供がするとよい
○高齢者だけでなく同世代の層で趣味やいこいの場があるとよい

